



須坂市立常盤中学校だより

# 碧空



令和2年10月27日(火)

第7号

## 須坂市内中学校卒業学年親善音楽会(代替音楽会)より

10月15日(木)、中学校卒業学年親善音楽会(代替音楽会)が開催されました。例年ですと、市内4校の3年生が一堂に会し、合唱を発表し合う音楽会でしたが、今年度は学校ごとにメセナホールに時間差をつけて集まり、グーライトさんに撮影をしていただき、後日編集したものを放送していただく、という変則的な音楽会となりました。以下に、卒業学年親善音楽会(代替音楽会)に参加する3年生に向けての壮行演奏会(音楽会①)や当日の様子についてお知らせいたします。(本年度は、常盤祭の中の音楽会を延期して分散開催としましたが、壮行演奏会を3学年合唱を発表する音楽会①、という位置づけでも実施しました。)

### 【壮行演奏会】

10月12日(月)、親善音楽会(代替音楽会)に向けての壮行演奏会が行われました。3年生がメセナホールで歌う合唱曲を、1・2年生が体育館で聴き3年生の本番での健闘を願う会でした。1・2年生にとっては、3年生が伝統を引き継いできた美しい3学年合唱を聴いて、来年・再来年の自分達の姿をイメージし、目標を持つ機会となりました。3年生は「校歌」「春に」「河口」を合唱し、講師としてご来校いただいた須坂東高校、鳥谷越校長先生からは、たくさんのお褒めのお話をいただきました。また学校長からも以下のような壮行のお話がありました。

### 須坂市内中学校卒業学年親善音楽会(代替音楽会) 壮行演奏会 壮行の言葉

美しいです。心が伝わってきました。

しかし、これだけ美しい合唱を生み出すために、1回1回、毎回、そして1年生の時から、練習を何100回も重ねて、厳しい練習を重ねて、どんなに集中した練習を重ねてきたかを、皆さんは知っています。

常盤祭や体育祭からまだ2週間程しか経っていません。3年生が中心となって、一つになって、1,2年生を引っ張り、全校が一つになって、常盤祭や体育祭という素晴らしい一つのことを創り上げることができました。

人は、絶対に、一人では生きていく事ができません。それとまったく同じように、

合唱も、絶対に、一人ではできません。

松下耕という合唱曲の作曲家の文章を、皆さんに贈ります。

私たちは、日々、何のために生きているのでしょうか。私たちが生かしているみなもと、根源とは、一体何なのでしょう。それは、私たちを取り巻く、私たち自身を支えてくれている「他者」、その人たちのために生きることではないでしょうか。

合唱活動は、そんなことを考えさせ、気付かせてくれる絶好のものです。独善的な人間の住む合唱団は、どうしてもいい音が出ない。捨て身の愛のないところに、ハーモニーは生まれません。不思議に。

10月に入りました。5ヵ月と5日後が卒業式です。

2年半一緒に同じ学年で生活してきた、この3学年の仲間と一緒にいられるのは、5ヵ月ほどしかありません。

この3学年の仲間みんなで、合唱できることの、感動や、喜びや、幸せをかみしめて、みんなで心一つにして、一生懸命、心を込めて、一つの美しい音楽を創り上げてきて下さい。そしてそれを、お互いがお互いのために、伝え合ってください。

この、親善音楽会(代替音楽会)のこれまでの練習と、これからの当日までの練習と、本番での合唱が、皆さん一人ひとりの人生にとって、かけがえのない宝物となる事を、心から願っています。 以上です。

3年生の合唱を聴いて、1・2年生は次のような感想を日記に書いていました。

○今日、3年生の歌を聴きました。校歌は今の私よりとってもきれいな歌声ですごかったです。「河口」という歌も迫力があって、いい歌だと感じました。ずっと聴いていたら、とてもいい曲で心が落ち着き

ました。私も3年生の皆さんのような歌声になれるように頑張りたいです。

○3年生の合唱は今の1年生の合唱の何倍もきれいな声で何倍も声が大きく、何倍もやる気を感じられる合唱でした。これからの1年生も3年生の時はあんな合唱ができるように今からがんばって練習していきたいです。

○3年生の校歌の歌声は今までの努力が分かる歌声で特に1番がピアノ無しで歌っていて、とてもきれいですごいと思いました。3年生全員が一生懸命歌っていたのでその気持ちをつなぎたいと思いました。

### 【卒業学年親善音楽会（代替音楽会）】

10月15日（木）、卒業学年親善音楽会（代替音楽会）が実施されました。

須坂市教育委員会 小林雅彦教育長先生から、次のようなご講評をいただきました。

#### 常盤中学校 講評 校歌・春に・河口

心が洗われる時間でした。人間の声が溶け合うと、こんなにすてきなハーモニーが生まれる、ということを再認識しました。コロナ禍の中で、練習もままならないにもかかわらず、一人一人の気持ちがいっしょと保たれ、だれ一人、集中力を切らさずに歌いきったことが、何よりも素晴らしい！

「春に」は本当にいい曲ですね。聴きながら、自分が行った被災地の風景と現地の人々の悲しそうな表情が、頭に浮かんできてもなりません。一人一人が詩魂を深く感じなければ、あのような表現にはなりません。見事でした！

「河口」。筑後川が世界一雄大な河口を持った大河のような感じがしました。最後に向けての盛り上がり、しっかりした声をもった学校でなければ表現できません。これも見事でした！（何種類かの音色をもった合唱団ですね。だからできるのでしょう。）

3年生の日記には、以下のような感想が書かれていました。

○今日は親善音楽会がありました。小学生の頃以来3年ぶりにステージに立ちました。中学生の観客はいなかったけど、すごく緊張しました。みんなが今までで一番集中していて、素晴らしい合唱ができたと思います。響きがとてもきれいで歌っていて気持ちいいと感じました。常盤中の合唱をしっかりと届けることができ嬉しかったです。

○今日は、親善音楽会本番でした。僕は歌っていてとても楽しかったし、とても気持ちよく歌えました。本番が終わってから、小林先生が「何も言いたくない」と言った時、一回目はどういう意味か正直に言って分かりませんでした。ですが、二回目で僕は聴いている人に僕たちの気持ちが伝わったのだなと実感しました。このメンバーで歌えてとても良かったです。

○今日は、親善音楽会がありました。メセナホールは体育館と響き方が違って、上手く歌えるかなという不安がありました。でも、直前まで練習している伴奏者の姿を見て、私も頑張ろうと思いました。本番では、自分の力を精一杯出し切ることができ、歌っている私自身もみんなの歌声に圧倒されました。みんなとの一体感を味わい、歌う楽しさも改めて感じました。自分達の発表で人を感動させることができ嬉しかったです。

3年生は、本校の「宝」である合唱を学校での壮行演奏会や親善音楽会（代替音楽会）で発表し、学年みんなで支え合い心と声を合わせ、創り上げた美しい合唱の感動を分かち合うことができました。また1・2年生も3年生の素晴らしい合唱を聴き、「常盤中学校の伝統を引き継いでいこう」という気持ちをさらに高めることができましたと思います。



須坂市立常盤中学校  
担当：教頭 新津朋典  
電話：245-0326